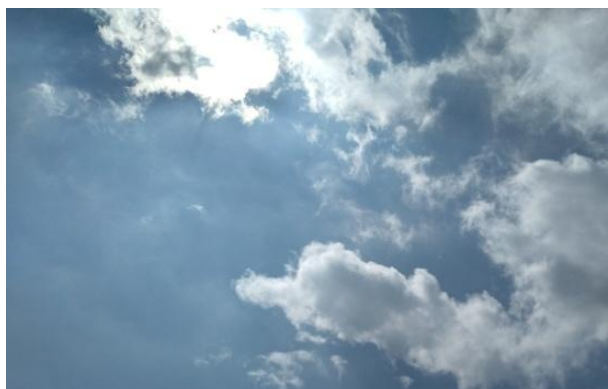


夢のたねまき楽校おもせ



令和8年8月25日(火)第9つづ

夏雲のように たくましく



夏休みの間、しみりとしていた校舎に、少し身長が伸び、日焼けしてたくましさを増した子供たちが戻ってきました。

昨日の全校集会では、「大きな事故やけがもなく、みんなと会えたことをとてもうれしく思います。」と伝えました。

夏休みに入る前に、子供たちには「夏休みの間は、自分の力で『安全のたね』『一生懸命のたね』『楽しくやるたね』を育ててくださいね。」と伝えていたので、学校に戻ってきた子供たちの姿を見た時に「うれしさ」がこみ上げてきました。

子供には自ら「育つ力」があります。ですから、校長としてやるべきことは、一人一人が自らの力で育つ土壌、環境を整えることだと考えています。言わば、プラント型の「育ちを促す環境」を整えるということです。

面瀬は自然、地域、保護者、校庭、校舎、教職員等々、育ちを促す栄養素がたいへん豊かです。その土壌を耕し、適切なタイミングで必要な栄養(教え・問い・支え・共感・承認・励ましなど)を提供していく。

子供一人一人が夢や願いを持ち、自立的に自身の特性や可能性を育んでいける場所でありたい。「夢のたねまき楽校」にはそのような思いを込めています。

これからの子供たちの「育ち」がますます楽しみです。引き続き、皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。



裏面につづく



環境整備作業ありがとうございました

8月23日(日)午前6時から約1時間、PTAの皆様をはじめ、地域の方々と校庭の草取り等、環境整備作業を行いました。お陰様で、学校再開を前に、子供たちがのびのび育つ環境がまた整いました。休日の朝早くからたくさんの方に参加いただいたことに感謝いたします。ありがとうございました。

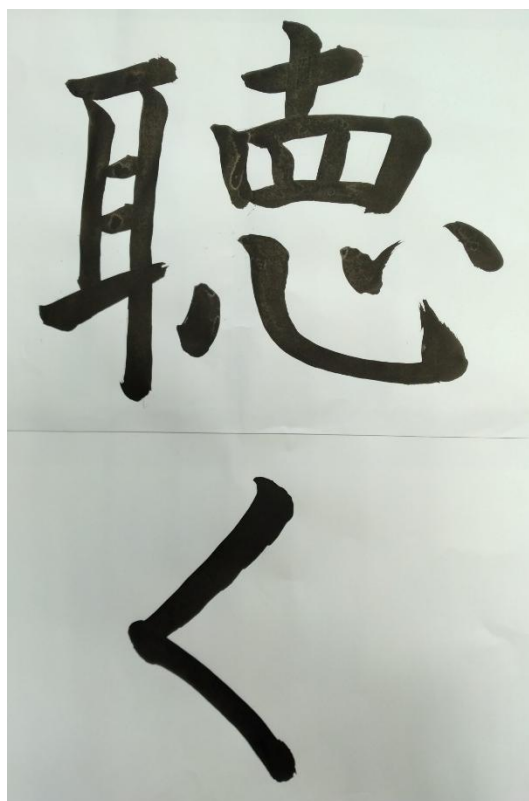


整地・除草された校庭



多様な生き物が集う「オモトープ」

さらに かしこく 心豊かに「耳と目と心で聴く」



昨日の夏休み明け全校集会の折に、これから、子供たちにますます「かしこく」そして「心が豊かになる」ためのコツを紹介しました。

それが、左の漢字「聴く」です。

「聴く」という漢字は、「耳」のほかに「四」（漢字の成り立ちからいうと、これは「目」を意味するのだそうです。）と「心」という漢字から構成されています。

耳と合わせ、相手に目を向け、相手に心を寄せ、感じ取りながら「聴く」。

「聴く」ことにより、さらに、かしこく、心豊かな面瀬っ子の成長を促していきます。